

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

語源から考えると、パウロがエボディアとシンティケに「同じ思いを抱きなさい」と勧めているのは、同じ空気を吸い、息をピッタリ合わせるようにと言っているかのようです。3節は「真実の協力者」（「協力者」と訳されている *σύζυγος* [シュジュゴス] は個人名かもしれませんが）と呼ばれているフィリピ教会の中心メンバーにこのふたりの女性を支えるように伝えています。ここで「支える」と訳されている *συλλαμβάνω* (シュンランバノ) は「集める」や「捉える」が原意ですので、教会に背を向けてしまったふたりを集め戻し、捉まえて離さないといったニュアンスがあります。

今日の聖書テキストは、一見するとエボディアとシンティケが互いに仲違いをしていることをパウロが心配しているようにも受け取られるのですが、実際にはかつて教会の中心メンバーであったふたりが教会と距離を置くようになった状態を解決しようとしているものと思われます。そこでパウロは彼女らに背を向けることを止め、教会の人たちと息をピッタリと合わせるように勧め、それと同時に教会の中心メンバーにはこのふたりを集め戻し、しっかりと捉まえて離さないように願っているのです。それはこのふたりが教会の発足時からパウロと協働して福音宣教のために働いた功労者だったからでもあるのですが、それ以上にこのふたりが中心から外れたことで感じていた寂しさにパウロが気づいていたからです。パウロも同様の寂しさを誰よりも経験していたからです。どの社会や組織にも同様の寂しさを抱えている人がいます。今日の聖書を通して、酪農学園大学が誰かの「寂しさに気づく」ことのできる場であって欲しいと願います。

#### 【2022年度春期キリスト教教育強調週間の報告】

先週のキリスト教教育強調週間は、獣医保健看護学類の宮庄拓先生に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。——酪農学園大学で学べる大切なこと」との主題でメッセージを語っていただきました。特に印象に残っているのは、「神を愛し、人を愛し、土を愛す」を「神に感謝し、人に感謝し、土に感謝する」と言い換え、三愛主義の新たな理解を提示くださったことです。また、動物実験の後に感謝の思いから祈りを捧げるといふ宮庄先生の姿から、生命への畏敬について改めて教えられました。宮庄先生、どうもありがとうございました。また、ご協力くださった循環農学類の毛利泰大先生にもお礼申し上げます。

#### 【次回の大学礼拝】2022年6月7日（火）10時40分

聖書 フィリピの信徒への手紙4章4節

奨励 「苦しいときにこそ前を」小林昭博先生（宗教主任）

## 【大学礼拝週報】2022年度 第7号（前学期第7号）

2022年5月31日（火）午前10時40分

リモート礼拝（酪農学園大学 黒澤記念講堂）

《大学礼拝》

〈礼拝動画の配信〉

前 奏

讃美歌 讃美歌 2 1 482 番（わが主イエス いとうるわし）

聖 書 フィリピの信徒への手紙 4 章 2-3 節

奨 励 「寂しさに気づく」 小林昭博先生（宗教主任）

祈 り

讃美歌 讃美歌 2 1 466 番（山路こえて）

報 告

後 奏

#### 【本日の聖書】フィリピの信徒への手紙 4 章 2-3 節

2 わたしはエボディアに勧め、またシンティケに勧めます。主において同じ思いを抱きなさい。3 なお、真実の協力者よ、あなたにもお願いします。この二人の婦人を支えてあげてください。二人は、命の書に名を記されているクレメンヌや他の協力者たちと力を合わせて、福音のためにわたしと共に戦ってくれたのです。

#### 【メッセージ】「寂しさに気づく」

フィリピ4: 2-3はパウロがフィリピの教会の中心メンバーにエボディアとシンティケというふたりの女性を慮るように伝えています。2節はエボディアとシンティケに対してパウロが「同じ思いを抱きなさい」と勧めています。「思いを抱く」と訳されている *φρονέω* (フロネオー) は名詞の *φρήν* (フレーン) から派生した動詞です。この *φρήν* という語は「心」や「思い」という意味で使われますが、本来は「横隔膜」を意味します。この背後には人間の感情が身体の中心部にあるという考えが横たわっているのですが、呼吸を司る臓器が感情の発露の場所というのは言い得て妙です。この